

石垣市の概況

(1) 位置及び面積

石垣市は、那覇から411km、鹿兒島から1,018km、東京から1,952km、隣国の台湾（台北市）から278kmの地点に位置している。

石垣島と尖閣諸島などの13の無人島から成り、その面積229.0km²は、八重山圏域全面積(591.9km²)の約39%、全県面積(2,275.2km²)の10%に相当し、県内52市町村中竹富町に次いで2番目に大きい。

(2) 人口

石垣市の人口は、平成17年国勢調査で45,183人を数え、圏域総人口の88.3%、県全体に占める割合は3.3%である。過去における人口の推移をみると、昭和40年(1965年)41,315人からその後は次第に減少し、昭和50年には35,000人を割るに至った。しかし、近年は、次第に増加の傾向を示している。その要因としては、公共投資の増大や観光入域客及び観光収入の著しい伸びに支えられた観光産業及び関連産業が好調に推移し労働力人口の流出が押さえられたためと考えられる。

(3) 地勢等

石垣島の地質は島の中央部から北は花崗岩、南は国頭れき層が分布し、南西の海岸及び平久保半島中央部は安山岩、その他屋良部、川平及び平久保半島尖端の山岳部に粘板岩等が分布する。

山岳は県下で最高峰の於茂登岳(526m)を始めとして、桴海於茂登岳(477m)、安良岳(366m)、ホウラ岳(342m)、ぶざま岳(321m)等300メートルを越える山々が山岳を構成する。

河川は二級河川として宮良川(12,000m)、名蔵川(4,550m)、底原川(4,500m)、石垣新川(3,700m)、ブネラ川(3,400m)がある。

(4) 産業

平成17年の国勢調査における産業別就業構造は、第1次産業が11.2%、第2次産業が15.7%、第3次産業が70.7%である。第1次産業の中で約86%を占める農業については、宮良川土地改良事業を始めとした各種の生産基盤の整備が進む中で、さとうきび、葉たばこ、野菜、水稻、パインアップル、花きなど、多種多様な作物が栽培されており、他市町村には見られない石垣市農業の大きな特色となっている。

平成16年の農業産出額は、94.2億円で県下第1位であり、特に肉用牛については、平成17年の飼養頭数が25,087頭と県下第1位で、県全体(78,291頭)の32%を占めており、県内でも有数の畜産業が盛んな地域である。

第2次産業については、建設業が70.6%、製造業が28.8%の割合を占めており、製造業の業種は、食料品製造業(42.9%)、窯業・土石製造業(15.4%)が主なものである。

観光リゾート産業については、平成17年の観光入域客は、74万7千人を数え、昭和47年の約3万7千人の観光入域客に比べると約20倍に激増した。また、観光関連収入(八重山圏域全体)についても、昭和47年の約7億4千万円から平成17年の約524億万円と約70倍の飛躍的な伸びを見せており、石垣市の重要な産業となっている。

(5) 交通現況等

道路の総延長は487.8kmで(国道36.0km、県道110.2km、市道341.6km)、そのうち県管理の国道、主要地方道及び一般県道の整備状況は、改良率85.8%、舗装率95.6%となっている。

今後は、さらに各路線の整備促進を図るとともに、道路網の見直しに伴う整備促進が重要な課題となっている。

漁港は、第2種として石垣漁港、第1種として登野城漁港、伊野田漁港、船越漁港があり、沿岸漁業の基地として順次その整備を進めている。

空港は、第3種空港として石垣空港(滑走路:1,500m×45m)があるが、輸送客や輸送貨物が年々増加し、その対応は限界に達している。このようなことから、一日も早い、2,000mの滑走路を有する新石垣空港の建設が望まれている。

石垣市、竹富町の概要（人口、面積、観光ポイント等）

市町		石垣市	竹富町
人口（人）		48,233	4,178
面積（k m ² ）		229.00	334.02
産業別人口 （人）	第1次	2,405（11.2%）	555（22.1%）
	第2次	3,371（15.7%）	224（8.9%）
	第3次	15,132（70.7%）	1,719（68.7%）
	うちサービス業	3,096（14.5%）	406（16.2%）
入域 観光客数 （人）	全体合計		783,054
	うち空路 観光客数	県外	575,430
		県内	171,798
	うち海路 観光客数	海路全体	35,826
		うちクルーズ船	30,311
主な観光ポイント		八重山民俗園	仲間川
		米原のヤヤマシ群落	浦内川
		バナナ岳展望台	マリユドウの滝
		野底岳	カンビレーの滝
		吹通川ヒルギ群落	ピナイサーラの滝
		石垣島鍾乳洞	星砂の浜
		宮良川ヒルギ林	コンドイビーチ
		富崎灯台	小城盛
		唐人墓	大岳
		平久保崎	ニシバマビーチ
		川平湾	高那崎
		御神崎	鳩間中岡
		玉取崎展望台	仲本海岸
		於茂登	西の浜
		米原海岸	
		名蔵アンパル	
		白保アオサンゴ	
国立公園に含まれている面積（陸域）（ha）		7,022	13,547
国立公園に含まれている面積（陸域）（%）		30.7	40.6
国立公園に占める面積割合（陸域）		34.1	65.9

出典：八重山支庁

八重山要覧（平成18年版）：沖縄県

各市町ホームページ

(1) 入域観光客数等の推移

ア 八重山圏域

表124

区分 年次	入域者数(人)			入域観光客数		県全体 観光客数(人)
	空路	海路	計	観光客数(人) (a)	観光消費額(円)	
平成元年	399,134	17,355	416,489	300,291	21,020,370	2,671,100
平成2年	436,933	17,284	454,217	327,104	22,897,280	2,958,200
平成3年	483,196	14,652	497,848	401,376	28,096,320	3,014,500
平成4年	510,853	17,726	528,579	426,242	29,836,940	3,151,900
平成5年	513,061	14,764	527,825	425,925	29,814,750	3,186,800
平成6年	520,174	13,654	533,828	432,010	34,560,800	3,178,900
平成7年	533,291	11,422	544,713	442,140	35,371,000	3,278,900
平成8年	539,480	12,760	552,240	447,886	44,788,600	3,459,500
平成9年	641,399	43,760	685,159	524,824	49,948,180	3,867,200
平成10年	618,050	20,392	638,442	517,908	51,496,320	4,126,500
平成11年	659,720	67,496	727,216	602,027	55,216,790	4,558,700
平成12年	676,670	53,958	730,628	599,343	50,820,636	4,521,200
平成13年	684,009	27,874	711,883	578,978	51,141,054	4,433,400
平成14年	718,712	34,118	752,830	613,362	44,002,223	4,834,500
平成15年	843,396	17,081	860,477	695,681	50,080,626	5,084,700
平成16年	856,122	27,578	883,700	715,777	49,900,000	5,153,200
平成17年	897,913	30,406	928,319	751,182	52,400,000	5,500,100
平成18年	943,087	14,904	957,991	771,838	54,900,000	5,636,900

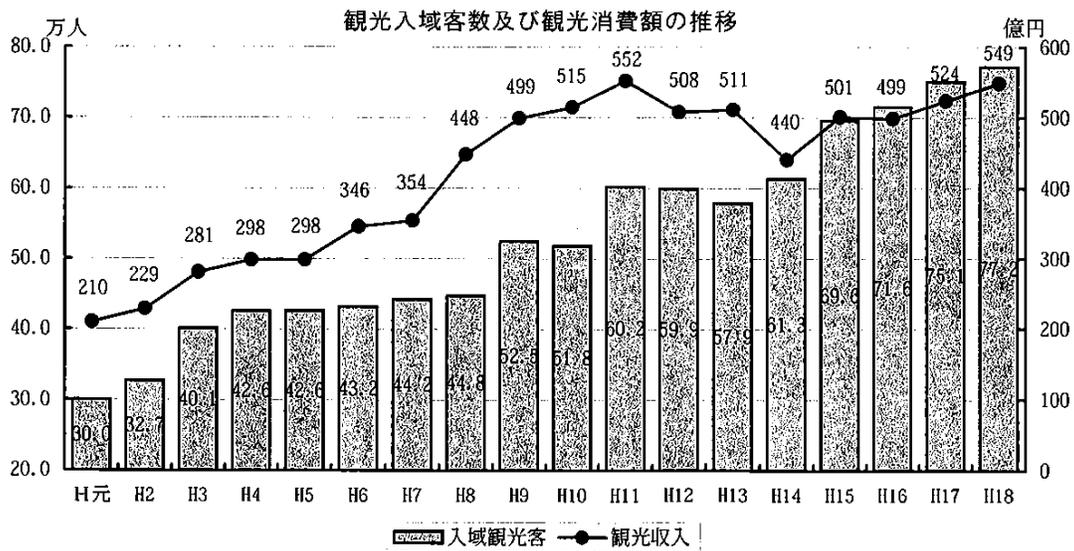
[参考値]

資料:石垣市、与那国町

注:※H15年までは石垣市のデータのみ。

※H16年に統計方法を変更した。

表125



イ 観光入域客数の推移（市町別）

(ア) 石垣市

表126

単位：人

区分 \ 年次	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年
空路	582,100	682,105	692,406	724,752	760,631
海路	31,262	13,576	20,066	22,878	7,219
合計	613,362	695,681	712,472	747,630	767,850
対前年比	106%	113%	102%	105%	103%

資料：石垣市

(イ) 竹富町

表127

単位：人

島名 \ 年次	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年		
					前年比	構成比	
竹富島	299,232	394,581	355,565	416,438	424,965	102%	41.5%
東部	267,468	321,112	308,248	308,744	336,138	109%	32.8%
西部	37,242	44,993	42,749	42,087	43,156	103%	4.2%
計	304,710	366,105	350,997	350,831	379,294	108%	37.0%
小浜島	99,292	121,750	115,922	161,455	172,686	107%	16.8%
黒島	15,448	18,146	17,904	23,245	21,266	91%	2.1%
波照間島	9,588	12,821	13,538	14,354	16,453	115%	1.6%
鳩間島	530	586	2,475	3,162	1,974	62%	0.2%
新城島	1,932	2,103	1,663	1,240	1,224	99%	0.1%
加屋真島	6,989	7,598	11,772	7,298	7,309	100%	0.7%
合計	737,721	923,690	869,836	978,023	1,025,171	105%	

資料：竹富町

(ウ) 与那国町

表128

単位：人

区分 \ 年次	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年
空路	25,462	27,902	29,004	27,686	34,818
海路	2,083	2,615	2,470	2,848	2,384
合計	27,545	30,517	31,474	30,534	37,202
対前年比	98%	111%	103%	97%	122%

資料：与那国町

出典：八重山要覧（平成18年版）：沖縄県

○主な興味地点

主な興味地点	利用状況
平久保崎灯台	背後には広々とした丘陵に牧場が広がり、サンゴ礁と無人島の大地離が特異な景観を有しており、眺望地として利用されている。
明石パラワールドテイクオフエリア	平久保半島東部の山並み、牧野、サンゴ礁の雄大な風景を望むことができ、隠れた展望地になっている。
八重山サビチ洞	石垣島北部の伊原間にある鍾乳洞で、およそ3億7千年前に形成されたとされる。洞窟を進んでゆくと海岸線に抜けることができ、観光客が訪れている。
玉取崎展望台	平久保半島及び白保へ続く石垣島東側海岸を望むことができ、駐車場等も整備されていることから、展望地として多くの利用がある。
野底岳	登山道があり、手軽に登ることができる。頂上からは、急崖の下に広がる亜熱帯林、サンゴ礁の海、北部平久保半島の景色が美しく、眺望地として利用されている。
吹通川	ヒルギ林など石垣島を代表する緑豊かな湿地帯が河口部に広がり、カヌーを楽しむ来訪者の姿も見られる。
米原のヤエヤマヤシ群落	群落の入口からは簡単な遊歩道があり、ヤエヤマヤシ群落の中を周遊する利用がなされている。
米原ビーチ	浜から十数 m のところでサンゴ礁や熱帯魚が見られ、米原キャンプ場は多くの観光客が利用している。
川平公園	国指定名勝になっている川平湾の展望地として、非常に多くの利用がなされている。
底地ビーチ	石垣島の代表的なビーチであり、白い砂浜と、遠浅で波のおだやかな海は、海水浴場として利用されている。ダイビング、シュノーケリング、ウィンドサーフィンなどのマリレジャーとしても利用されている。
御神崎灯台	石垣島の西側に位置し、白い灯台と断崖の景勝地として利用されている。
於茂登岳	登山道があり、沖縄県最高峰であることから登山利用が多い。
名蔵アンパル	マングローブ林が広がり、散策による自然観察、カヤックによる利用、釣り等の利用がされている。渡り鳥の重要な中継地であることからラムサール条約湿地になっており、バードウォッチングなども活発である。
八重山民俗園	八重山・石垣島の民族文化を手軽に知ることができ、また、マングローブの探勝路が整備され、観光名所になっている。

主な興味地点	利用状況
しらはサンゴ村	石垣島白保のサンゴ礁の保全活動と持続的な海の資源利用に取り組んでいる。館内ではサンゴ礁に関する資料等があり、観光客が多く利用している。
アオサンゴ大群落等	アオサンゴの大群落は、北半球では最大規模のものとされており、グラスボードやスノーケルによる観光利用も増加している。
バナナ公園	山の地形を生かした広場、散策路には亜熱帯性気候風土を感じさせる多くの貴重な植物が観察できる。また、観光利用だけでなく、鳥類の保護・繁殖など、市民が自然を楽しむ場である。
八重山鍾乳洞	8万坪の広大な敷地内に鍾乳洞、小動物とのふれあいの場などがあり、南国の植物等も見られる。自然のままの鍾乳洞があり、多く観光利用されている。
観音堂歴史公園	歴史文化資源や豊かな自然環境を活かした市民のレクリエーションの場として利用されている広域な公園区域である。
唐人墓	19世紀の中頃、中国からアメリカへの航行中、座礁先の石垣島に逃亡したが捕らえられ、犠牲となった中国人労働者のために建立された。鮮やかな色彩とこまかな細工が目を引き、観光名所として利用されている。
八重山博物館	八重山の焼物であるパナリ焼やお祭りにつかう旗頭、人头税時代の資料など、八重山諸島の貴重な考古、歴史資料、美術工芸品、民具、農耕具、漁具などを多数展示しており、市民や観光客が八重山の歴史文化を鑑賞する場所として利用されている。
宮良殿内	琉球の士族屋敷の面影をとどめる、沖縄県内唯一の建物である。近世沖縄の八重山における士族階級の住宅様式として貴重な国の重要文化財になっており、観光客の見学施設として利用されている。